

令和5年度 小樽市立桜小学校 学力向上改善プラン

1 児童の実態

令和4年度の学力向上改善プランの定着目標の達成状況は56%であった。(18の目標のうち10を達成)。令和4年度の全国学力・学習状況調査においては、国語(本校56・全国65.6)、算数(本校49・全国63.2)共に全国平均を下回った。質問紙では、「自分には良いところがある」(本校14.8、全国39.4)自己肯定感に関わる項目、「家で自分で計画を立てて勉強をしている」(本校14.8、全国27.5)といった家庭学習に関する項目において課題が見られた。標準学力調査や確認テスト等の全校の取り組み状況を分析したところ、前向きに学習に取り組む土台のある学年集団とそうでない学年の差が明らかになった。今年度は、発達支持的な生徒指導を通して、全学年で「おだやかさの土台」を築き、学年集団に応じて授業改善を進め「粘り強く筋道を立てて考える力」や「いくつかの考えを調整する力」を伸ばし、学力向上を目指す。

2 学年ごとの定着目標(数値目標)

<国語科>

学年	定着目標
1年	・配当漢字(ひらがな)の定着割合を80%以上とする。
2年	・配当漢字の定着割合を90%以上とする。
3年	・配当漢字の定着割合を90%以上とする。
4年	・配当漢字の定着割合を90%以上とする。
5年	・配当漢字の定着割合を90%以上とする。
6年	・配当漢字の定着割合を90%以上とする。

<算数科>

学年	定着目標
1年	・たし算とひき算の定着割合を85%以上とする。
2年	・既習基礎計算の定着割合を85%以上とする。
3年	・既習基礎計算の定着割合を85%以上とする。
4年	・既習基礎計算の定着割合を85%以上とする。
5年	・既習基礎計算の定着割合を85%以上とする。
6年	・既習基礎計算の定着割合を80%以上とする。

<学習・生活習慣(家庭学習等)>

学年	定着目標
1年	・言われなくても家で勉強をしている(30%以上)
2年	・言われなくても家で勉強をしている(30%以上)
3年	・言われなくても家で勉強をしている(30%以上)
4年	・家で自分で計画を立てて勉強をしている(20%以上)
5年	・家で自分で計画を立てて勉強をしている(20%以上)
6年	・家で自分で計画を立てて勉強をしている(20%以上)

3 目標を達成するための具体的な方策

(1) 基礎学力の確実な定着を図る取組

- ①ICTを活用した学びの保障の充実
- ②長期休業中の学習会や個別最適な学習機会の充実
- ③各種調査、単元テスト等の結果分析

(2) 確かな学力をはぐくむ授業改善の取組

- ①「小樽授業づくりの5つのステップ」による授業改善
- ②「みんなで11」(学習規律)の指導の徹底
- ③ICTを活用した指導の個別化と協働的な学びの推進

(3) 家庭と連携した学習習慣・生活習慣をはぐくむ取組

- ①家庭学習の習慣化を図る啓蒙と連携
- ②家庭学習強化週間の設定と活用問題課題への働きかけ
- ③「スマート7」等の保護者への啓発活動

5 実施計画

年月日	計画内容
R5年	・これまでの(前年度等)全国学力・学習状況調査の調査問題の実施
4月	・チャレンジテスト(前年度問題)の実施 ・学力向上検討委員会「確認テストの実施」 ○R5全国学力・学習状況調査の実施 ○全国学力・学習状況調査 自己採点 ○標準学力調査実施(第3学年・第5学年)
5月	・週末活用課題の実施(5年生) ・学級経営案に基づいた児童交流 ・放課後学習の実施
6月	○標準学力調査結果分析
7月	・これまでの(前年度等)全国学力・学習状況調査の調査問題の実施 ・家庭学習強化週間①の設定(全校週末活用問題、家庭への資料提供) ・チャレンジテスト(1学期末問題)の実施
8月	・夏休み学習会 ・桜ノート展① ○R5全国学力・学習状況調査結果分析
9月	・校内研修を中核とした授業実践の推進 ・学習習慣づくりの啓発活動 ・研究授業の実施と検証
10月	○保護者への調査結果の説明 ○学力向上改善プランの評価・改善
11月	・2学期確認テスト(桜問題)の実施と分析
12月	・これまでの(前年度等)全国学力・学習状況調査の調査問題の実施 ・家庭学習強化週間②の設定(全校週末活用問題、家庭への資料提供) ・自己評価・児童アンケート・保護者アンケートの実施と結果分析 ・チャレンジテスト(2学期問題)の実施
R6年	・冬休み学習会
1月	・桜ノート展② ・家庭学習強化週間③の設定(全校週末活用問題、家庭への資料提供)
2月	・学力向上検討委員会「確認テスト」の実施 ・これまでの(前年度等)全国学力・学習状況調査の調査問題の実施
3月	○新学力向上改善プランの作成

6 評価方法

(1) 基礎学力の確実な定着を図る取組

- ①担任への聞き取りによる学びの保障の確認
- ②学習会の参加率と担任への聞き取り
- ③チャレンジテストや単元テスト、確認テスト等の結果分析

(2) 確かな学力をはぐくむ授業改善の取組

- ①研究協議等による検証・分析
- ②児童アンケートの結果分析
- ③外部からの意見や自己評価の分析

(3) 家庭と連携した学習習慣・生活習慣をはぐくむ取組

- ①担任への聞き取りによる家庭学習提出率の確認
- ②児童アンケートの結果分析
- ③保護者アンケートの結果分析